

教科・科目		学科・学年	単位数	教科書
家庭・家庭総合		普通科・2年	2	家庭総合 明日の生活を築く(開隆堂)
科目の概要と目標		人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。		
学期	単元	到達度目標		
1 学期	第1部 「人とかかわって 生きる」 第3章 子どもの発達と保 育・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達と生活 ・子どもとかかわる ・親の役割と子育て支援 ・子どもの権利を福祉育・福祉 		
	第2部 「生活を営む」 第1章 食べる	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の衛生と安全 ・食事を調える ・これからの食生活 		
2 学期	第2部 「生活を営む」 第2章 着る	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の管理 ・被服をつくる ・これからの衣生活 		
	第3章 住まう	<ul style="list-style-type: none"> ・人間と住まい ・さまざまな住まいと暮らし方 ・快適な住まい ・安全な住まい ・まちづくりと住まい 		
3 学期	第3部 「生活をつくる」 第2章 生涯の生活設計	<ul style="list-style-type: none"> ・生活資源を活用した生活設計 ・リスクのマネジメント ・キャリアを見通す ・持続可能な社会に向けて 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣や遊びの意義を理解する。 ・子どもとふれ合う際の注意点がわかる。 ・家族が協力して子育てに参加することの意義を考える。 ・子どもが豊かに育つ環境について考える。 ・食品の安全確保について理解する。 ・調理の基本を知り、日常食の調理ができる。 ・私たちにできる「環境にやさしい消費生活」を考える。 ・被服の手入れの方法を学び、生活に生かす。 ・簡単な衣服の製作ができる。 ・繊維資源の大量消費・廃棄の実態を知る。 ・住まいの役割を理解する。 ・目的に合った住まい方を工夫できる。 ・快適な住まいの工夫を考える。 ・住まいにまつわる危険を知り、安全対策を考える。 ・住環境にかかわる社会的しくみについて考える。 ・貯蓄の目的やお金の貯め方を知る。 ・リスクに対応する工夫や手立てについて考える。 ・キャリアを見通すために必要な職業選択について考える。 		